

教員・ゼミ紹介

教員名	※ゼミは経済学部3学科 教員の専門や研究テーマ
[ゼミテーマ]	のすべてのゼミ(P.68、 P.74、P.80)の中から選 択できます。
ゼミ紹介	

大竹 伸郎 准教授

地理学から考える持続可能な生き方

[経済地理学(エコツーリズムと地域振興)]

グリーンツーリズムやエコツーリズムの学習を通し、持続可能な観光や産業のあり方を考えます。

大床 太郎 准教授

環境・生活の質に関する公共政策の経済評価

[社会調査の基礎と技法]

社会調査におけるルールやコード、データの整理技法、社会調査データならではの視点に触れます。

木原 隆司 教授

国際公共政策論、国際開発論、開発援助、紛争と経済、東アジアの高齢化・社会保障・金融構造に関する研究

[国際公共政策と開発協力]

(開発経済学の基礎と開発途上国の実態)

開発途上国や開発援助政策に関する理論と実態を学び、国際公共政策のあり方について検討します。

高畑 純一郎 教授

公共経済学

[ミクロ経済学]

ミクロ経済学のテキストを読み、個人や企業の行動パターンや望ましい社会のあり方を学びます。

高畑ゼミ
紹介Movie



樋田 勉 教授

経済統計学、統計調査論

[経済経営のためのデータ分析]

統計データを分析して意思決定に役立てる方法と統計リテラシーの修得をめざします。

童 適平 教授

金融制度と金融政策に関する研究

[金融制度と国際経済]

金融政策、金融商品、金融市場について学びつつ、ビジネスの世界を生き抜く国際感覚を養います。

浜本 光紹 教授

環境政策の制度設計とその評価

[グローバルな視点で環境と経済を考える]

地球規模のグローバルな課題について、国家と地域の両方の視点からとらえ解決策を考えます。

藤山 英樹 教授

協力とネットワークの経済分析

[ゲーム理論と社会ネットワーク]

ゲーム理論の基礎を学んだあと、実証的な手法も含め、さまざまな社会状況を分析していきます。

藤山ゼミ
紹介Movie



松枝 秀和 教授

地球環境科学、大気化学、航空機観測による炭素循環の研究

[気候と地球環境の科学]

気候変動問題について学び、地球環境科学の視点から人間と自然の共存を考えます。

米山 昌幸 教授

持続可能な開発と国際貿易に関する研究

[SDGs 実践と持続可能な社会の創造]

持続可能な社会を創るために、社会と連携しながらプロジェクトを通して課題解決に取り組みます。

高橋 良子 准教授

英語教育学、英語ライティング教育、「特定の目的のための英語」教育

中西 貴行 教授

英語教育学、多読の活用・効果検証

濱 健夫 特任教授

水圏生態学、生態系環境学、物質循環環境学

卒業論文テーマ一覧(一部抜粋)

- 日本におけるサーキュラーエコノミーへの展望
- 国内人口移動のネットワーク分析
- カンボジア国における家庭環境と教育問題の関係について
- 一持続可能な消費と生産
- フィリピンにおける公共図書館支援の重要性と必要とされる施策
- 教育の国際開発目標がもたらしてきた成果と今後
- 人々の車離れとその要因
- 大メコン圏経済回廊によるASEAN諸国の格差是正

TOPICS

大学全体で福島県の「復興知」を活用した人材育成事業に挑戦
「外国語教育、環境教育を活用した『持続可能なまちづくり』創造事業」が採択
「地方創生☆政策アイデアコンテスト2021」において、
東北経済産業局長賞・日本政策投資銀行賞を受賞

本学は、福島イノベーション・コースト構想推進機構の「2021年度大学等の『復興知』を活用した人材育成基盤構築事業」に採択され、2021年度から2025年度までの5年間、本学と福島県田村市をはじめとした浜通り市町村等との間で継続的な関係を構築し、「外国語教育」「環境教育」「地域づくり」事業を展開。「持続可能なまちづくり」を通じ、SDGsの達成と同地域の復興に貢献する人材の育成に取り組んでいます。

また、復興知事業のスタッフでもある小山健司さん(経営学科3年)が代表を務める国際環境経済学科米山ゼミAチームが内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2021」において、田村市を対象地域に「廃校の校舎を加工工場に！空き家を地産地消レストランに！」という企画提案を行い、東北経済産業局長賞・日本政策投資銀行賞を受賞。本学と田村市との連携協定締結式に来学された白石高司田村市長に報告し、締結式に花を添えました。



大学全体でSDGsに取り組む
獨協大学環境週間
“Earth Week Dokkyo”の開催

持続可能な地球社会の実現をめざして、“Earth Week Dokkyo”を6月と12月の年2回、開催。SDGsの達成に向けて、本学の学生、教職員の意識を高めるのがねらいです。Earth Week Dokkyo実行委員会が全学から参加団体を募って、学生自らがキャンパスライフを見直して、一人ひとりに何ができるかを考えて、行動に移しはじめています。



東南アジアで学ぶ 海外ゼミ合宿「開発援助視察調査」

本学は日本のODAや国際機関の支援実態を調査するため、東南アジアでのゼミ合宿を実施。現地視察や、日本大使館や世界銀行、ADB、JICA等の援助関係機関での聴取・質疑応答を通じ、学生の理解と検討を深めています。これまでにフィリピン、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、タイで実施。



地域活性化に取り組む 福島県「大学生と集落の協働による地域活性化事業」

2021年現在、獨協大学では福島県の南会津町趾風地区、田村市船引町瀬川地区、喜多市高郷町本村地区、小野町谷津作行政区の4地区で地域振興活動を行っています。コロナ禍のため活動の制約もありましたが、今年度は地域との交流活動やEarth Week Dokkyo期間中に地域の農産物の直売会を行うことができました。12月に趾風地区を訪れた大竹ゼミチームは、地域観光資源に関するアンケート調査や伝統食であるソバ打ちの体験を行いました。

